日刊 県民福井　新聞定価 月ぎめ 2,950円(うち消費税219円) 1部売り 110円　(第3種郵便物認可)

宿泊客 応援ポケモンでゲットだぜ

グランディア芳泉 2部屋 あわら温泉 29日から



ゲーム発の人気コンテンツ「ポケットモンスター」のキャラクターで、県の魅力を発信する「ふくい応援ポケモン」の「カイリュー」の装飾などを施した客室「旅するカイリュールーム」が29日、あわら市のグランディア芳泉に2部屋オープンする。ポケモンとコラボしたコンセプトルームは県内初。壁や天井までカイリューで埋め尽くされ、作中のポケモントレーナーになった気分にひたりながら、温泉街の滞在を楽しめる。（山本晃暉）

「カイリュールーム」登場

物語は入室前から始まる。80センチほどあろうかというカイリューの実物大の足跡が部屋の前まで案内してくれる。カイリューをイメージした黄色系と、翼の色に近い青色系を基調とした客室がある。作中のアイテム「モンスターボール」をかたどった照明が室内を照らし、11階の室内からは坂井平野の田園風景を一望できる。空を自由に飛び回れるカイリューと一緒に、開放感あふれる景色が楽しめる。消灯後も、天井を見上げると蓄光塗料で描かれたカイリューが浮かび上がる趣向が凝らされている。





和室に入ると、雪見障子の窓からは柔らかな光が差し込む。「実はここにも、ポケモンが隠れています」と若女将の山口良子さん。障子を上げると、ガラスに描かれた「ミニリュウ」が登場した。掛け軸に描かれた「ハクリュー」を含め、カイリューが進化する前の2匹のポケモンが伝統的なしつらえに溶け込んでいる。

地元のものづくり技術を知ってもらおうと、職人たちが仕上げた備品もある。枕カバーやクッションカバーは、織物の産地・丸岡で制作された。山口さんは「旅館ならではの和の趣とカイリューの世界を感じる部屋として、愛されてほしい」と話した。

コラボは、ポケモンのプロデュース会社「ポケモン」（東京都）が始めた「ポケモンローカルActs」活動の一環。県とポケモン社が協力し、客室の世界観を再現した。予約は17日から開始している。2人で利用した場合は、1人あたり1泊2食付きで4万1800円から（最大定員6人）。

（上）カイリューのデザインを随所に取り入れた室内　（左）掛け軸や雪見障子のガラスにも、カイリューやミニリュウなどが描かれている　（右）宿泊者はオリジナルタオルがもらえる＝いずれもあわら市のグランディア芳泉で

三重には「ミジュマルルーム」

全国の「コラボ」国内外で人気

1996年発売のゲーム第1作以降、アニメにも展開し、世界中にファンがいるポケモン。福井を含む全国12道県は地域の魅力を発信する「推しポケモン」とコラボした商品の販売などをする。ポケモンの世界観を表現したコンセプトルームがオープンした自治体では、国内外の観光客が訪れるなど盛り上がりを見せている。

三重県では、ラッコポケモン「ミジュマル」のぬいぐるみや装飾などをあしらった「ミジュマルルーム」が2024年5月にオープンした。提供する鳥羽国際ホテル（鳥羽市）マーケティング部の大井理央さんは「部屋は常に稼働している状態で、海外のポケモンファンも多く宿泊する」と説明する。

宿泊者限定のオリジナルアメニティーもあり、「宿泊後も旅の思い出が続く」と好評だという。

18年から自治体を応援するポケモンとして「ヤドン」とコラボする香川県。22年2月から3施設4部屋でヤドンをあしらった部屋が誕生した。同県観光振興課によると、4年以上経過しても満室の日が多く、国内外から宿泊者が殺到している。同県もホテルなどを拠点に、ポケモンのスタンプラリーを開催するなどの観光施策も展開する。担当者は「ヤドンの宿泊施設をきっかけに、その後の県内観光にもつながっている」と手応えを話した。（山本晃暉）

©中日新聞社　著作権は中日新聞社または契約通信社、友好社、外部筆者に帰属します。無断転載、複製、頒布等は著作権法により禁止されています。切り抜きした画像は個人や家庭に準じる範囲でご利用ください。